

令和4年9月29日発信

緊急地震速報訓練に係る国からのお願いについて

この度、国土交通省（気象庁）から、緊急地震速報訓練への参加依頼がありましたので情報提供させていただきます。

国土交通省（気象庁）では、津波防災の日（11月2日）に、全国一斉の緊急地震速報訓練を実施することとしており、当日は、午前10時頃に市町村の防災無線などで緊急地震速報の放送が流されることとなっています。

当日は、緊急地震速報が出された際に、速やかに安全な場所に異動するなど、民間事業者に対する自主的な訓練の実施が呼びかけられています。

※なお、各市町村によって、当日の訓練の取扱（放送のみ、シェイクアウト訓練の実施など）が異なるとのことですので、詳細は、お住いの市町村ホームページでご確認くださいとのことです。

「災害は忘れたころにやってくる」と申します。

会員の皆様におかれましては、別添パンフをご利用いただき、日頃からの地震や津波への備えの重要性を再認識いただけると幸いです。



11月2日 (水) は

緊急地震速報の訓練に 参加しましょう！

緊急地震速報を見聞きしたときに、慌てずに
身を守る行動ができるようにしましょう

- ・ **令和4年11月2日(水)10時00分頃**に、訓練に参加する地方自治体の防災行政無線や、一部商業施設などで緊急地震速報の放送があります。

※訓練の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール（エリアメール）には流れません。（一部のコミュニティFM等を除く）

- ・ 普段から、家具の固定など地震への備えをすすめ、津波避難場所なども確認しておきましょう！



どうやって訓練に参加するの？

- お住まいの自治体の防災行政無線や商業施設などで緊急地震速報が放送される場合があります。自治体からのお知らせ、気象庁のホームページ等でご確認ください。
- 緊急地震速報を受信する端末をお持ちの方
 - ご契約の事業者から配信される¹⁾ 訓練用の緊急地震速報や受信端末に備わる訓練機能を利用してみましょう。
- 受信端末をお持ちでない方
 - 気象庁ホームページで公開している訓練用動画²⁾ や、スマートフォンの訓練用アプリ³⁾ を使ってみましょう。



緊急地震速報を聞いたら、どうすればいいの？

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。



頭を守って、安全な場所に避難！



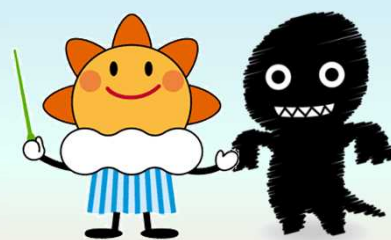
危ない場所から離れて！



お店では、あわてず係員の指示に従って！

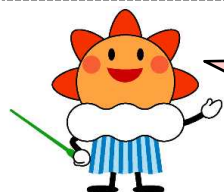
シェイクアウト訓練

- シェイクアウト訓練とは、地震の際の安全確保行動1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練です。当日、シェイクアウト訓練が行われる自治体にお住まいの場合は積極的に参加してみましょう。



気象庁マスコットキャラクター「はれるん」
シェイクアウトキャラクター「シェイクエイク」

- 1) 訓練用の緊急地震速報の配信の有無については、**ご契約の事業者等の周知・案内等をご確認ください。**
(訓練用の緊急地震速報を配信する予定の事業者名は、気象庁のホームページにも掲載予定です。)
配信される場合は、訓練用の緊急地震速報を受信した時の**端末の動作等についてもご確認ください。**
- 2) 緊急地震速報訓練用動画や訓練の詳細については、気象庁のホームページをご覧ください。
- 3) 株式会社NTTドコモ「地震防災訓練アプリ」は各社のスマートフォンで利用可能です。(一部ご利用できない機種もあります。)
詳細については株式会社NTTドコモのホームページをご覧ください。



気象庁の
ホームページも
見てね！

詳しくは「緊急地震速報 訓練」で検索、または二次元バーコードから

緊急地震速報 訓練



〔お問い合わせ先〕

気象庁 地震火山部 地震津波監視課 地震津波防災推進室

〒105-8431 東京都港区虎ノ門3丁目6番9号

電話：(03)6758-3900 (内線5158)

緊急地震速報訓練行動チェックシート

緊急地震速報は、地震の発生後、強く揺れる前に揺れが来ることを伝えることを目標とする情報ですが、緊急地震速報が発表されてから対象となる地域が強く揺れるまではわずかな時間（数秒～数十秒）しかありません。

地震の揺れから身を守るには、その場所や状況に合わせてあわてずに行動する必要があります。

訓練に参加される皆様はこの「緊急地震速報訓練行動チェックシート」をご利用いただき、訓練時に適切な行動をとることができたかご確認ください。

・ 訓練開始前の確認事項

様々な状況で、緊急地震速報を受けた場合に安全な行動がとれるか確認します。

※安全な場所の確認については訓練時の場所に関わらず両方をご確認ください。

訓練用の緊急地震速報を受け取る手段を把握している 例) 職場の館内放送、自宅の受信端末、防災行政無線など	<input type="checkbox"/>
屋内の安全な場所の確認 例) 下にもぐりこめる丈夫な机がある、周辺に落ちてきそうなものや倒れそうな家具が無い場所がある等、安全な場所を確認	<input type="checkbox"/>
屋外等の安全な場所の確認 例) 外出時に普段歩いているところに倒れそうなものなど危険な場所がないか確認	<input type="checkbox"/>
訓練時に必要な行動について理解している 必要な行動をお書きください（いくつでも可） <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>	<input type="checkbox"/>

※空欄（太枠）には訓練時の状況に応じて必要な行動を記入し、その行動がとれたか確認しましょう。必要な行動の具体例については、次のページに掲載しておりますのでご参照ください。

・ 訓練後の確認事項

訓練時の緊急地震速報を受けた場合に安全な行動がとれたかを確認します。

訓練用の緊急地震速報を受け取れた（聞けた）	<input type="checkbox"/>
あわてずに身の安全を確保できた	<input type="checkbox"/>
安全な場所に避難できた（そのまま留まることができた）	<input type="checkbox"/>
訓練前に決めた必要な行動がとれた	<input type="checkbox"/>

緊急地震速報を受けたときの行動の具体例

以下に示す行動はあくまでも例です。必要な行動は緊急地震速報を受信する場面によって異なります。以下の気象庁ホームページ等も参考にさせていただき、適切な行動をとれるようにしていただければと思います。

訓練を機会にご自身で、あるいはご家族や職場の方と一緒に考えましょう。

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/koudou/koudou.html>



屋内では

家庭では

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。
- あわてて外に飛び出さないでください。
- 無理に火を消そうとしないでください。

人がおおぜいいる施設では

- 施設の係員の指示に従ってください。
- 落ち着いて行動し、あわてて出口には走り出さないでください。

乗り物に乗っているとき

自動車運転中は

- あわててスピードを落とさないでください。
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促してください。
- 急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとしてください。
- 大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止してください。

鉄道やバスなどに乗車中は

- つり革や手すりにしっかりつかまってください。

エレベーターでは

- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りてください。

屋外にいるとき

街中では

- ブロック塀の倒壊等に注意してください。
- 看板や割れたガラスの落下に注意してください。
- 丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難してください。

山やがけ付近では

- 落石やがけ崩れに注意してください。